

令和7年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会 会議録

1 会議名 令和7年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会

2 開催日時 令和7年10月3日(金)午後1時30分～3時30分

3 開催場所 木更津市立中央公民館 多目的ホール

4 出席者名

委員：白石和義、石村比呂美、伊藤素子、吉田信明、鈴木希実、水島享子、川名達也、
佐久間智之、瓦林恵里佳、近藤直弘、鶴岡俊之、鎌田節子、佐藤優希、内田愼一郎、
三好主晃(15名)

事務局：廣部昌弘教育長、曾田智生教育部長、水越学教育部次長兼文化課長、
鈴木玲子生涯学習課長、堀田かおり係長、川本ルリ子会計年度任用職員(6名)

説明のため出席：北村晴美図書館長、松本明子郷土博物館金のすず館長、
山下理中央公民館長

5 協議事項

(1)各種審議会・協議会報告について

(2)公民館の地域交流センターへの移行について

(3)吾妻公園文化芸術施設について

(4)少年自然の家キャンプ場について

(5)防災行政無線を活用した「子どもの見守り放送」について

(6)その他

①君津地区社会教育委員連絡協議会臨時総会の結果について

②各地区文化祭視察について

③郷土博物館金のすず「令和7年度特別展 YAYOI の木更津」について

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人4名

7 資 料

令和7年度社会教育委員会議第2回定例会資料

市内15の公民館が地域交流センターに変わります！チラシ

木更津市地域交流センターの設置及び管理に関する条例

吾妻公園文化芸術施設 基本設計(建築)

吾妻公園文化芸術施設平面図

吾妻公園文化芸術施設 基本設計(公園)

少年自然の家キャンプ場について資料

防災行政無線を活用した「子どもの見守り放送」について資料

令和7年度 地区文化祭(公民館まつり)事業実施概要一覧

令和7年度特別展 YAYOI の木更津 チラシ

8 会議の内容

事務局 ただ今より、木更津市社会教育委員の委嘱状交付式を開催いたします。
生涯学習課長 お名前をお呼びいたしますので、恐縮ですが自席にてご起立くださるようお願い申し上げます。

鶴岡 俊之 様

委嘱状授与—廣部教育長

介添え — 曾田部長

事務局 ありがとうございます。以上を持ちまして委嘱状交付式を終了いたします。
ただいまより令和7年度木更津市社会教育委員会第2回定例会を開催いたします。本日は委員18名中15名の出席があり、欠席は3名であります。従いまして木更津市社会教育委員会運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので会議は成立しております。なお本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日の傍聴人は4名です。以上報告いたします。

初めに白石議長からご挨拶をいただきます。

白石議長 皆さんこんにちは。東京ではインフルエンザが流行っており、学年閉鎖した学校もあると本日のニュースで見ました。皆さんも体調管理に気をつけて今後の活動をしていただければと思います。

さて、10月・11月は様々なイベントがあります。皆さんご覧になっていると思いますが、広報きさらづには11月3日に「ORGANIC CITY FESTIVAL 2025」の掲載があったり、また後程説明があると思いますが、郷土博物館金のすずも、はたおりの講習会等様々なイベントが催されます。参加できるものがあったら積極的にご参加いただければと思います。広報きさらづを見て様々なことを学ぶことができますし、木更津市のこれからのことも分かり、いろいろ社会教育委員として参考になるかと思いますので、一読いただければと思います。

今日は、「公民館の地域交流センターへの移行について」、「吾妻公園文化芸術施設について」、「少年自然の家キャンプ場について」、「防災行政無線を活用した「子どもの見守り放送」について」という議題があります。2時間という限られた時間ですが、皆さんに色々ご意見いただき、有意義な会議にしたいと思います。

事務局 ありがとうございます。続きまして廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

廣部教育長 こんにちは。平日の午後、大変ご多用の中お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、日頃より、本市の社会教育・生涯学習事業の充実に向け、貴重なご意見を賜っておりますことに対しまして、御礼申し上げたいと思います。

ようやく涼しくなってきました。この7～9月は本当に気温が高く、公民館事業においても高齢者の参加が多いので、熱中症対策に大変気を遣ってきました。

新朝日庁舎について、当初は4月開庁予定だったものが、1月5日開庁予定との報道が2～3日前にされました。駅前庁舎においても西側立体駐車場の解体工事が始まり、また、公民館が地域交流センターに移行となり、吾妻公園文化芸術施設

設ができる等、まさに木更津市が新しい形になる過渡期なのかと思います。

請西・真舟地区に市内 14 番目のまちづくり協議会が設立されるということも耳にしております。ご承知のように木更津市は各地区のまちづくり協議会によって地域の活性化を図っていきたいと事業を進めており、それに合わせながら、各地区の地域交流センターができるということ、大いに期待をしているところです。

私は、小中学生が日常的に出入りしている地域交流センターの姿を想像しております。3 年前から中学生の合同生徒会を立ち上げて活動しておりますが、彼らは非常に意識が高く、中学生と地域の連携が大事だと話し合っています。具体的には今年度開催される市全体の防災訓練に、合同生徒会として、各地域の避難所に参加しようと準備しております。これまでは、波岡中や鎌足中の部活動の生徒が参加していたぐらいで、あまり意識が向いていなかったと思います。本市の危機管理アドバイザーである國崎先生の講演を聞くと、大災害が来たときには、中学生は支援される側ではなくて支援する側に回らなければいけないということでした。3 年前から防災ジュニアハイスクールという事業を開始し、消防署には全中学校に入っていて、中学校 1 年生対象に心肺蘇生法や怪我の手当等 5 種類の学習をしています。3 年経っていますので、木更津市の中学生は一通り救助法が身についていることになります。地域交流センターにおいても、ぜひ各地域で小中学生が日常的に通えるようなシステムを作っていただきたいと考えているところであり、このことにつきましてもぜひご意見をいただければ大変ありがたいと考えています。

木更津市は人口微増が続いております。最近若干増え方が少なくなってきておりますが、持続可能なまちづくりということは人口を減らさないというのが最大の命題となっております。市長には、市内小学校はなくさないという方向に舵を切っていただき、現在は、木更津特認校対象にスクールバスを出しています。結構人気が出てきて、小規模校が小規模じゃなくなる可能性もあります。ぜひ各地域の小学校を残しながら、各地区の人口も増やしていきたい、人口増加につながる事業を行なっていきたいと考えています。

昨日、浜松町の産業貿易センターで、「第 10 回オーガニックライフスタイル EXPO in 東京 2025」があり、渡辺市長も登壇され、木更津市のまちづくりをプレゼンされました。私も参加し、「ぜひ木更津市に移り住んで、この学校に通ってください」と木更津特認校のコマーシャルをしてきました。教育が魅力の木更津市を目指しております。現在、清見台地区に転居してバスで中郷小学校に通っている家庭もありますので、ぜひそんな形で転入者・移住者を増やしていければと思っているところです。人口減少の時代と言われておりますが、木更津市は継続して人口が増え続けていくことを目標としておりますので、そんな視点からもぜひ、社会教育・生涯学習の面から、今度できる吾妻公園文化芸術施設についても、い

ろんな活用方法ができると思いますので、ご意見を頂戴しながら、みんなで歩いていければと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

事務局 ありがとうございます。今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第二条第4項により、議長にお願いしたいと思います。

白石議長 それでは第2回定例会会議次第に基づきまして進めていきます。「5 協議事項」の「(1)各種審議会・協議会報告について」、です。

まず、私から。9月26日、君津地方社会教育委員連絡協議会に出席した報告です。研修会は「これから社会教育委員に期待されること」をテーマに、私を含め石村副議長、内田委員、熊切委員、佐久間委員、三好委員で参加して参りました。同日に臨時理事会・臨時総会を実施しましたが、こちらの内容については後程事務局より説明いたします。

次に「(2)公民館の地域交流センターへの移行について」、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 生涯学習課長説明

白石議長 ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見・ご質問等ございますか。

瓦林委員 利用料金についてお聞きします。例えば3日間展示会をしようとした場合、数日連続で借りることになると思うのですが、それはどういう扱いになるのでしょうか。

中央公民館長 展示を目的とする利用料金は、規定料金の半額(5割)となります。

白石議長 他にございますでしょうか。ないようでしたら「(3)吾妻公園文化芸術施設について」、説明をお願いいたします。

事務局 生涯学習課長説明

図書館長 図書館長説明

白石議長 ありがとうございます。ご意見・ご質問等ございましたら、お願いします。

鎌田委員 事務局は、図書館と公民館は一緒になるのですか。

生涯学習課長 複合施設ですので、事務局は1つになります。

瓦林委員 大屋根広場の下の素材は土なのでしょうか。

生涯学習課長 土ではなく、しかし舗装とも違うものになります。担当課にきちんと確認し、回答いたします。

瓦林委員 コンサートを行うにあたり、楽器を持ち込むのであれば音源はいらないけれども、音源がいるものを使う場合は、コンセントや照明等が要ると思うのですが、仕様はどうなっているのでしょうか。

生涯学習課長 大屋根広場のコンセントや地面の様子も含めまして、今年度、詳細設計に取り組んでおります。もちろんイベントをイメージした広場ですので、不足のないように配置されると思います。

鎌田委員 結構立派な公園で、木や芝生を植えるにしても伸びてくるので、自分の家の庭

の草をとるのも大変なのに、これだけの広さの公園を、誰がどうやって管理するのでしょうか。公共施設ですから、伸びっぱなしにしたら利用されなくなっていくと思うので、管理はきちんとできるのか、少し不安に思った次第です。

生涯学習課長 管理については、現在ある交通公園も含めて検討しておりますので、決まりましたら報告いたします。

瓦林委員 トイレはクラブハウスの横だけで、あとは文化芸術施設内のトイレをお借りすることになるのですか。屋外にトイレが少ないのではないですか。

生涯学習課長 ドッグラン等含め、民間導入も検討しており、その施設を設置する際にトイレの設置も含めると聞いております。文化芸術施設だけでは、当然足りませんので、公園としてきちんと整備していきます。

三好委員 細かいところはまだまだこれから話は詰めていくところかと思うのですが、私は職務上、医療や患者様の視点に立っての質問となります。各階にお手洗いとか多目的トイレ、オストメイト等の対応はされるのではないかと考えておりますが、床面の素材や、外の道にしても、例えば車椅子の人が自走しやすい素材を使ってるのか気になりました。舞台のある多目的ホールは多分車椅子の人も、スペースは確保してくださってはいるのですが、福祉や介護系の方が、この設計づくりに携わってくだされば、点字ブロック等の意見も出てくるのかと思いました。

生涯学習課長 設計業者とも調整を図っていますけれども、バリアフリーや身障者向けの部分、また環境に配慮するなど、施設を建築していく上での必要条件是クリアしながら設計を進めているところでございます。床の素材についてはきちんと把握していなかったので当課に確認し回答いたします。

三好委員 災害があったとき、車椅子の方や障害をお持ちの方が施設内に取り残されてしまうイメージがどうしてもございます。この施設自体が安全であることはもちろんですが、どうしても施設から避難しなければならないときに、上の階から車椅子の人が使用できるエレベーターは設計されているのでしょうか。果たして大丈夫かなあ等、いろいろなことを想像しながら意見を述べさせていただいた次第です。

鎌田委員 公民館が交流センターになると、開館時間が 8 時半に変更となる旨先ほど伺いました。図書館は今開館時間が 9 時ですが、足並みは揃えるのでしょうか。それとも別々になるのでしょうか。

生涯学習課長 図書館については、開館前に準備作業の業務が多いということは把握しておりますので、ずらすことも考えております。ホールについては逆に遅い時間まで開館することになるかと思います。調整をかけて、ニーズに沿った形で設定するよう調整してまいります。

鎌田委員 公民館と図書館の仕切りは、扉や壁のようなものがあるのでしょうか。

生涯学習課長 仕切りのドア、壁などは設定されません。開館時間がずれる際には、「ここから先はまだ開館しておりません」という周知をし、自動貸出機などの機械を備えて、職

員が従事していなくても最低限受けられるサービスが準備できるよう検討しているところでございます。他自治体の事例も踏まえ取り組んでおります。

石村委員 例えば施設の利用者と、散歩だけの目的で公園に来た方と、駐車場の料金の設定は変えるのでしょうか。

生涯学習課長 そこまではまだ検討は進んでいないのですが、違いを設けるといのは現実的ではないかと思っています。サービス券発行で対応するところもございますので、様々な事例を参考にしながら、皆さんに使いやすい形にしたいと考えております。

三好委員 市内全体の交通を考えたときに、貸し出し自転車サービスを活用して、その設置場所の一つにこの吾妻公園がなり、利便性の向上を図るという案もあるかと思いました。吾妻に足を運んでいただくためのサービスとして検討されたりするのでしょうか。

生涯学習課長 吾妻公園に関連してさまざまな課と調整を図っております。交通問題を直接担当する課に確認するとともに、アイデアとして伝えたいと思います。

白石議長 吾妻公園に関し、細かいところまでいろいろなお意見いただきました。では次に「(4)少年自然の家キャンプ場について」、説明をお願いします。

事務局 生涯学習課長説明

白石議長 ただいまの説明につきましてご意見・ご要望等ございますでしょうか。

A地点の方が被害が大きいようです。見た目はさほどではないのかもしれませんが、今後のことに関しては随時皆さんにお知らせしていくとのことです。キャンプ場はこういう状態になってるということだけご承知いただきたいと思います。

では続きまして「(5)防災行政無線を活用した「子どもの見守り放送」について」、事務局よりご説明をお願いします。

事務局 生涯学習課長説明

白石議長 ただいまの説明につきまして、ご意見・ご要望等ございますでしょうか。

川名委員 私は10月1日開催されました青少年問題協議会に社会教育委員として参加いたしました。その中で、社会教育委員として、公民館の地域交流センターへの移行につきまして、青少年問題と絡めて「地域交流センターは地域の人と人を結ぶ教育の場として機能することが重要です。今後は青少年が地域交流センターを、自分たちの居場所と感じられるように、イベントなどを通じて、地域の大人との自然な関わりが生まれる場となるよう支援していきたいと考えます。こういったことに対して、議論を深めていきたい」ことを伝えてまいりました。

青少年問題協議会の中で、他の委員から、「催し物をしても子どもが集まらない」「大人との関わりが少ない」という意見がありました。しかし、木更津駅付近でやっている子どもまつりは子どもがいっぱい集まっており、公民館まつりや地域のごみ拾い作業なども、結構小中学生や高校生が参加してたり、子ども会のチャレランに、子どもはもちろん、卒業された方々も手伝いに来てくれたりと、そんなに子ど

もが少ないということでもないと思っています。

体験や、子どもが主体で動くものには、子どもが集まりやすく継続しやすいのではと思っています。例えば、子どもまつりであれば電子マネーではなく、100 円玉を持って自分で選んで購入する、そういった体験が非常に大事なんだと感じています。合同生徒会にしても、子どもが子どものためにアイデアを出し、行動に移し、大人に対して意見を述べている。そういうことが大切なのではないかと考えております。

夕方の見守り放送では、中学生が同じぐらいの中学生や小学生に呼びかけるとするのは、大人が放送するよりも効果はあるのではないかと思った次第です。

内田委員 良い試みだと思っています。ただその試みが本当に効果があるのか、ある程度数字的な裏付けが必要だと思います。今後のために、そういうものは必ず精査していただきたく、お願いいたします。

吉田委員 すばらしい試みだと思います。中学生に限定しないで、小学生や、むしろ高校生にもお声掛けいただけるとありがたい。1 年間 365 日あるので、大変だと思いますが、そういった試みも考えていただけると良いのではないのでしょうか。

白石議長 今回は中学生の声でしたが、吉田委員の発言のように、小学生とか高校生も交えて考えていただいても良いのでは、と私も思います。

他にございますでしょうか。それでは「(6)その他」に移ります。

事務局 「①君津地区社会教育委員連絡協議会臨時総会の結果について」説明

中央公民館長 「②各地区文化祭視察について」説明

金のすず館長 「③郷土博物館金のすず「令和7年度特別展 YAYOI の木更津」について」

説明

白石議長 公民館まつりについては、11 月 1 日に桜井公民館、西清川公民館、八幡台公民館を社会教育委員と公民館運営審議会委員の皆さんで視察します。公民館まつりはコロナウィルスの蔓延の影響により、開催されない時期もありましたが、最近はまた盛んに行われるようになりました。可能な限り参加していただければ地域の方達と公民館の活動が見れると思いますので、よろしくお願いいたします。

博物館金のすずもいろいろイベントがありますので、こちらの方も参加していただければと思います。

伊藤委員 吾妻公園文化芸術施設基本設計(建築)の中にあつた仕様概要のところに、段床利用と平土間利用について記載があり、座席がしまわれた状態にあると、大屋根広場から舞台のどこまで全部続いた空間になって、長さ的にはおそらく 60m を超えるぐらいになり、高さは見たところ 3m ぐらいかと思います。それは何か意図があつて、こういう仕様にしようとしたのか、明らかに災害対策を考えてのこういう計画なのか教えていただきたいです。こんな空間を活用するとこういうイベントができるよつてというような事例(イメージ)があつての構想なののでしょうか。

生涯学習課長 避難所としての役割を担うのはもちろんですが、やはり多様化したイベントのあり方に対応できるよう、設計を進めているところです。

伊藤委員 イベントイメージが具体的にあるのかというのと、どういうイメージを持って、こういうイベントができますよという提案で設計がされたのかということと、あとは椅子の収納にどれだけ手間がかかるのかが知りたいです。20 秒ぐらいで可変できると使い勝手はいいですが、半日くらいかかるなら、おそらく災害のときしか使えないだろうと思います。そうであるならば、そこまでして可変にする必要があるのか、災害目的なのであるのだろうとは認識しているんですけど、正直ホールを使う側としては、ちゃんとした座席の方がいいなと思っています。

生涯学習課長 避難所の役割を担わないといけないので、広く使える施設をめざしたところであり、また大屋根広場につきましても屋外での避難活動の場所にする聞いております。

近藤委員 私も商売柄、先ほど伊藤委員からもお話あったように、ホールは非常に気になることでしたし、大分早い段階から可動式の椅子の必要性とかも、お聞きしております。補助金の関係とかもあってこういう形になったのだというふうには認識はしております。

具体的な仕様もまだ決まっていないという話が大変多かったと感じておりますけれども、大分時間も差し迫っているところでございます。大変お忙しい中、いろいろと決めないといけないことも多いと思いますけれども、ぜひともスピード感をもって詰めていただければと思います。

また、せっかく管理とか、多分造園、様々な内装もあると思いますけれども、極力、市内業者を中心に使っていただけるとありがたいと思っております。市の方が頑張ってくれればと思っております。

鶴岡委員 私は公民館運営審議会委員から出て委嘱を受けました。よろしくお願いします。3 点ございます。

1 点目が、先ほどお話のありました公民館文化祭まつりの視察研修についてです。公民館運営審議会委員と社会教育委員の合同でやらせていただいております。かねてからお話しておりますけれども、やはり公民館というのは地域の核であるというのを実体験として見ていただける一番の機会だと思います。年に 1 回ですけれども、この文化祭まつりを視察していただくことによって、いかに地域に公民館が必要かということが体験できると思いますので、ぜひ皆様の参加をお願い申し上げます。

2 点目が、先ほど教育長が冒頭の挨拶でお話されました件です。地域交流センターに日常的に小中学生が出入りができるような、そういう施設にしたいという非常にありがたい素晴らしい言葉をいただきました。公民館運営審議会委員としてはもう長年、若い方々に、いかに公民館を利用してもらうにはどうしたらいいかと

議論してきました。先ほど川名委員のお話にもありました通り、文化祭とか子どもまつりとか、公民館の事業に地元の小中学生が参加をして主体的にいろいろ活動しているという場面はありますけれども、やはりどうしても一時的なものになってしまいます。ですので、新しい地域交流センターが日常的に子どもたちが利用できるような施設になれば非常にありがたいなと期待しております。

3 点目が要望です。吾妻公園文化芸術施設の図書館の部分です。郷土資料コーナーを設置して、郷土の誇るべき文化や歴史をわかりやすく学べるコーナーを作りたい、といったお話が以前の説明でもあったと思います。私もそれを非常に期待していますというお話もさせていただきました。資料を見ると明確に別に部屋があるわけではなく、ゾーニングとなっているので、できましたら郷土愛が育めるようなコーナーを作っていただきたいです。一木更津市民として、これからを担う小中学生、高校生も含めまして、子ども達に「木更津市っていいとこだな、すばらしいとこだな」と感じていただけるようなコーナーをぜひとも作っていただきたいです。

佐藤委員

今日初めて知った内容も非常に多く、もう少し勉強しないといけないと思った次第です。

個人的に気になったのは、子ども見守り放送です。小中高生の声でやるということ自体は私も個人的には良いことなのかなと思いつつも、見守られる側の立場の子たちが見守りの放送をするというのは、立場が逆というか、少し違和感があると思いました。私は普段法律に携わる仕事をしていますが、例えば犯罪予防の案内を市民の方がするということはあまりなく、基本的に取り締まる側の警察や弁護士や裁判所などの公的機関がやるのが普通です。ただ、確かにお子さんの立場とすれば、お子さんの声の方が聞きやすいというところもあるのかもしれないと思いました。内田委員から、数字的な検証をお願いしたいという話もありましたので、記録を取った上で検証しつつ進めていく方が良いのかなと思った次第です。

佐久間委員

キャンプ場についてお伺いしたいと思います。各地区の公民館とか住民会議、私が所属している青少年相談員、子ども会等々でキャンプ場を使うことは多いと思います。先ほどのお話ですと、何か意見を聞くような話だったのですが、そもそも道路を直す気があるのか確認したいです。私も馬来田出身なので、どこの場所か大体想像はつきます。昔からひびが入っていたような感じで、結構そこから水が入って、崩れてしまったのではないかと勝手に想像をしているところです。道路を直すにも、結構お金がかかると思いますので、今後のキャンプ場のあり方も含めて考えていくのか、キャンプ場自体、今後も継続していくのかどうかだけでも、お聞かせできればと思います。

生涯学習課長

工事をするにしても、応急処置をしてすぐに使用再開できる場所ではなく、工事をするにあたっては事前調査も必要な場所でございます。こういった工事方法が一番いいのかということも含め調査を行わないといけませんので、現在、いつ頃直

とも言えない状況です。現在のキャンプ場につきましても、北キャンプ場は進入禁止となっており、今年度解体を進める予定でした。また、西キャンプ場も崖に面しているテントベースは腐敗が進んでおりますので、そちらの利用は中止しております。自由広場や南キャンプ場に水道があるので、そこに持ち込みのテントを活用して使用してもらっている状況でございます。

今後につきましては、キャンプ場を、キャンプだけではなく、その他の活用も加味し、活用の拡大が図れるよう前向きに検討していきたいと考えているところでございます。様々な調整が必要となりますので、検討する中でこういった施設であれば市民の皆様を活用していただけるのか、例えば検討委員会などを開きながら、意見をいただけるようにしたいと考えているところもでございます。状況を踏まえ随時報告し、皆さんの意見を聞かせていただきたいと思っております。

佐久間委員

簡単な工事ではないというのは写真を見てわかりました。公民館や住民会議事業、子ども会、青少年相談員等毎年利用している団体があります。おそらく代替案等も出てくるかと思いますが、子どもたちが思い切って野外で活動できる有意義な場所の一つが、少年自然の家キャンプ場だと思っておりますので、ぜひ前向きな検討をお願いします。

水島委員

お伺いしたいことが3点ございます。

1つはキャンプ場です。子ども会の行事としてキャンプ講習はもう何十年も、毎年行っているものです。もちろん来年についても、やりたいことの案も出ている中、おそらく来年は使えないのかと思ったところです。子ども会に限らず、町内会や様々な団体にキャンプ場は使用されると思うのですが、代替として同じような体験ができる場所があるのかどうか、或いは本当にもうこれは事業がしばらくできないと考えたほうがいいのか、もし分かるようでしたら急ぎませんので教えていただきたいと思います。

あと、吾妻公園文化芸術施設についてなのですが、以前もお話というか質問をさせていただいたことがあります。この施設を利用するにあたって、柱の側面の角や机の角に、子どもがふいに転んだときに危険だと感じたので、そういった部分への対応がとられているのかと気になりました。金田交流センターは柱にウレタンゴムが貼ってありました。そういう細かいところの対応ができているのかということと、金田は手すりや壁の片側にしかなかったのですが、両側につくかどうかなど、子どもや高齢者、障害を持った方たちへの対応ができているのかどうか、改めて確認をさせていただきたいところです。

あと、子どもの見守り放送について、私は佐藤委員と逆の思いを抱きました。私は10月1日の午後4時30分に外に出て放送を聞きました。いつもだったら最後が「地域の皆さん、子ども達の見守りをよろしくお願いします」という言葉だったんですが、1日の放送では男の子の声で、「地域の皆さん、いつも見守りありがとうございます

ざいます」という言葉に変わっていました。これはやはり子どもだからこその内容であり、これを訴えることによって地域のみんなが、「ありがとうって思ってくれてるんだ。じゃあもっと見守らなきゃ」、そういう思いにさせる放送だと捉えましたので、私は子どもの声は大歓迎ですし、市原の方では幼稚園生がやっているということも聞きましたので、幼稚園の五、六人の声で「いつもありがとう」という声が流れるだけでもやはり気持ち的に違うと感じました。引き続き続けていただきたいと思います。

生涯学習課長 代替えの件ですが、現状、そういった施設はございません。また、吾妻公園文化芸術施設への要望につきましては、以前にもいただいていたものですので、担当課には共有しております。

鈴木委員 私も本年度からこちらに参加させていただいております。本日の会議では非常に多くのことを学ばせていただきました。

非常に印象深かったのが、若い人、生徒会ですとか、あとは見守り放送もそうですが、子どもにお仕事を任せるといったようなお話が多々あったと思うのですが、それは若い人達の爆発的な成長を促したりしますので、ぜひともたくさんの活躍の場を今後もたくさん提供していただければと思います。

吾妻公園文化芸術施設のことについて、本学もまたお世話になるかと思ってお話を伺っていました。私も様々なホールに赴いているのですが、可動式の客席の場合、揺れや足音が気になるケースが多くございます。そういった点について、業者さんとはお話をされておりますでしょうか。技術が進んでいるので、大分良くなっていたりはするとは思いますが、何かおわかりになってることがありましたら、教えていただければと思います。

生涯学習課長 避難所対応も考えますと、可動式の椅子ということで設計を進めさせていただいております。最新の可動式椅子の状況につきましては、担当課に確認し、改めて回答いたします。

白石議長 以上で協議を終了したいと思います。事務局にお返しします。

事務局 皆様、慎重審議ありがとうございました。それでは令和7年度木更津市社会教育委員会第2回定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。